

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	環境都市工学基礎演習Ⅱ	担当教員	環境都市工学科教員	
学年学科	4年 環境都市工学科	通年	必修	2単位
学習・教育目標	(D-4) 100%			
授業の目標と期待される効果： 環境都市工学に関する各専門科目の基礎的事項を、演習を反復繰り返して行うことによって確実に理解し、応用力を身に着ける。 ①環境都市工学科の各専門科目の基礎的事項の理解		成績評価の方法： 総得点数 200 点＝平常試験 200 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう 達成度評価の基準： 教科書の練習問題と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。 ①環境都市工学科の各専門科目の基礎的事項をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる ②各専門科目の基礎的な設問をほぼ正確(6 割以上)に解くことができる		
授業の進め方とアドバイス： 演習を中心に行うので、自分の手で問題を解くことが不可欠である。なお、授業の予定は下記のようなものであるが、苦手な科目を連続して集中的に行いたい場合は、担任と各担当教員の了解のもとで予定を変更することも可能である。				
教科書および参考書： 各専門科目の教科書や参考書を用いる。				
授業の概要と予定：前期				
第 1 回：構造力学に関する基礎演習 1				
第 2 回：水理学に関する基礎演習 1				
第 3 回：土質力学に関する基礎演習 1				
第 4 回：コンクリート工学に関する基礎演習 1				
第 5 回：数理計画学に関する基礎演習 1				
第 6 回：測量学に関する基礎演習 1				
第 7 回：環境工学に関する基礎演習 1				
第 8 回：応用数学に関する基礎演習 1				
第 9 回：構造力学に関する基礎演習 2				
第 10 回：水理学に関する基礎演習 2				
第 11 回：土質力学に関する基礎演習 2				
第 12 回：コンクリート工学に関する基礎演習 2				
第 13 回：数理計画学に関する基礎演習 2				
第 14 回：環境工学に関する基礎演習 2				
第 15 回：前期のまとめ				

授業の概要と予定：後期
第16回：構造力学に関する基礎演習3
第17回：水理学に関する基礎演習3
第18回：土質力学に関する基礎演習3
第19回：コンクリート工学に関する基礎演習3
第20回：都市工学に関する基礎演習1
第21回：測量学に関する基礎演習2
第22回：環境工学に関する基礎演習3
第23回：応用数学に関する基礎演習3
第24回：構造力学に関する基礎演習4
第25回：水理学に関する基礎演習4
第26回：土質力学に関する基礎演習4
第27回：コンクリート工学に関する基礎演習4
第28回：都市工学に関する基礎演習2
第29回：環境工学に関する基礎演習4
第30回：後期のまとめ

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	環境都市工学の各専門科目の基礎的事項を正確に(8割以上)説明できる.	環境都市工学の各専門科目の基礎的事項をほぼ正しく(6割以上)説明できる.	環境都市工学の各専門科目の基礎的事項を正確に説明できない.
②	各専門科目の基礎的な設問をほぼ正確(8割以上)に解くことができる.	各専門科目の基礎的な設問をほぼ正確(6割以上)に解くことができる.	各専門科目の基礎的な設問を解くことができない.